

FORZA 駒澤 ユニバ

〒154-8525 東京都世田谷区駒沢1-23-1
 駒澤大学 マスコミ研究所内「駒人スポーツ」サッカー班
 Eメール forzakomazawa@hotmail.com
 TEL・FAX 03(3418)9556 発行人 熊崎雅之

8月21日～31日まで中国の北京で行われた第21回ユニバーシアードのサッカー男子競技で大学生のみで挑んだ日本代表チームは予選リーグを無敗の1位で通過。決勝トーナメント1回戦では、イギリスにPK戦で勝利。準決勝のKリーグの選手を含む韓国には激闘の末、1点差で辛勝。決勝では地元中国を下して勝ち上がってきたウクライナを1-0で下し見事3大会ぶり2度目(前回優勝は1995年の福岡大会)の優勝を飾った。駒澤大学からは4年生DF三上卓哉、3年生FW深井正樹、3年生FW巻誠一郎が参加しこの快挙に貢献した。

北京で爆発駒大パワー 日本の金に大貢献

左から深井正樹、三上卓哉、巻誠一郎
 アイルランド戦終了後、熊崎雅之撮影



深井=初戦で強烈ミドル、三上=全試合フル出場&1アシスト、巻=3得点1アシスト



三上卓哉

「今大会はどんなに攻め込まれても負ける気がしなかった」
 こういう経験は一生できないと思うのでいい経験になりました。今回のチームはほんとにひとつの「チーム」という感じがあって仲も良かったです。あと今大会ではどんな劣勢でも負ける気がなくて、先制すると負けたくないというジンクスもあったみたいで、そんな「変なもの」を持っているチームでした。それはなんだか分かりませんが。(笑)選抜に行くまでは自分はあまりサッカーを知らなかったけど、選抜でチームディフェンスとか気持ちの面とかでいろいろ勉強になりました。チームが解散した時は「やっと終わったな」という感じでした。監督からは「ここからがスタートだ」ということを言われました。やっぱりみんなプロを目指していると思うし、この経験をこれからは生かしていきたいです。



深井正樹

「サッカーの面白さを知った韓国戦」
 ユニバでの金メダルというのはチーム結成からの目標だったので結果には満足しています。自分は初戦のチェコ戦ですごい体調がよくて体もきれてたんですけど怪我をしてしまって、練習もあまりできなくてコンディションが落ちてしまった。その後は思うようなプレーが出来なかった。韓国戦はサッカーって面白いなというのをすごい感じた試合でした。9割方ボールを支配されてずっと攻められてたんですけど、それでも組織で粘り強く守って決めなきゃいけないところを決めればどんな強い相手でも勝てるんだと、自分の出来は納得いってないですけど。もう気持ちはリーグ戦に切り替わってます。まだ怪我はあるけどユニバに快く送り出してくれた監督のためにも一戦一戦大事にして、ユニバの仲間より上に行きたいです。

巻誠一郎

「印象深いのはイラン戦と韓国戦」
 大会直前に呼ばれて入っただけみんな知っている人ばかりだったので抵抗はなかったです。明るい良いチームでした。自分のモチベーションもやはり日本代表ということで高かったです。プーイングは凄かったですけど、それも逆にやるというという気になりました。印象に残っている試合は自分が2点取ったイラン戦と、韓国戦です。韓国はプロも何人かいたし、レベルが凄く高くてしんどかったです。優勝という結果が出せたのは集中力と、チームとしての自分の役割、戦術理解がしっかりしていたからだと思います。(リーグ戦が始まりますが?) まだ疲れがあるので体調はいまいちですけど、チームに貢献するプレーを第一にリーグ戦中に1、2点とれればいいです。

